

## 社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月30日

計画の名称	人や生き物がつながる都市公園の整備											
計画の期間	令和06年度～令和08年度(3年間)											
交付対象	川崎市											
計画の目標	川崎市は南北に細長く、様々な地形に応じた多様な緑が存在していることから、緑が実感できるまちづくりを実現するため、緑を維持、保全、育成するとともに、新たな緑の創出に努めながら、地域特性に応じた緑と水のネットワークを形成していく必要がある。 市街化が形成された川崎市において、生物の生息・生育空間の創出を通じた生物多様性の確保に資する都市公園の整備を推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	340	A	340	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
	R6当初			R8末			
1	生物多様性が消失しやすい都市部における生物の生息・生育空間の創出を通じた生物多様性の確保に資する公園用地の取得 現在11.0ha 目標11.1ha	公園用地の取得	110000m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	111000m <sup>2</sup>		
2	生物多様性が消失しやすい都市部における生物の生息・生育空間の創出を通じた生物多様性の確保に資するボランティア等管理団体の活動区域の拡充 現在4.2ha 目標4.3ha	ボランティア等管理団体の活動区域の拡充	42000m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	43000m <sup>2</sup>		

備考等	個別施設設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

## A 基幹事業

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	15				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	15				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	15				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 人や生き物がつながる都市公園の整備

事 前 評 價		チェック欄
I . 目標の妥当性 上位計画との整合性		
I . 目標の妥当性 1 ) 川崎市総合計画及び緑の基本計画を踏まえた計画となっている		○
I . 目標の妥当性 地域の課題への対応		
I . 目標の妥当性 1 ) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている		○
II . 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている		○
II . 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている		○
II . 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている		○
II . 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性		
II . 計画の効果・効率性 1 ) 要素事業の実施により相乗効果等が得られるものとなっている。		○
III . 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）		
III . 計画の実現可能性 1 ) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
III . 計画の実現可能性 2 ) 計画について、住民等との間で合意が形成されている。		○

## 事 前 評 価

## チェック欄

## III. 計画の実現可能性

地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）

## III. 計画の実現可能性

1) 住民、民間等の活動・関連事業との連携等により、事業効果の発現が得られるものとなっている。



## (参考図面) 事業箇所図

計画の名称	人や生き物がつながる都市公園の整備		
計画の期間	令和06年度～令和08年度(3年間)	交付対象	川崎市

